

市町村名	沖縄市						
平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②		観光地周辺道路整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)ウ	
担当部署名	建設部 道路課		事業実施(予定)年度	平成24年~27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
Ⅲ-1-(1)							
事業内容	観光地周辺の道路の快適性の向上や安全性を確保するため、歩行空間における小広場(ポケットパーク)の整備を行う。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	25年度繰越	26年度	26年度(繰越)
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	26,334	110,102	—	7,800	—
		(b)予算現額	26,334	225,102	—	6,642	—
		(c)増減額(b-a)	0	115,000	—	▲ 1,158	—
		(d)繰越額		219,818	219,818	0	3,629
		A. 計(b+d)	26,334	444,920	219,818	6,642	3,629
	B. 執行済額		26,334	5,282	214,386	2,797	3,629
	うち交付金充当額		21,067	4,225	171,509	2,237	2,903
	次年度繰越額		0	219,818	0	3,629	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	1.2%	97.5%	42.1%	100.0%
予算の状況の説明		契約差額である1,158千円(委託費:422千円、工事費:736千円)を2月補正で減額した。 小広場(ポケットパーク)へ設置する案内板(特注品)の納期が遅れたことにより繰越を行い、平成27年度に完了している。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	小広場(ポケットパーク)整備の実施	目 標	(①実施設計の実施 ②整備の実施)	()	()	()	
		実 績	①実施設計完了 ②整備の完了				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	観光地周辺の道路の快適性の向上や安全性を確保するため、歩行空間における小広場(ポケットパーク)の整備を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	小広場(ポケットパーク)の整備 1箇所の完了	目 標	()	(①実施設計の実施 ②整備の実施)	()	()	()
		実 績		①実施設計完了 ②整備の完了			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	観光地周辺の道路の快適性の向上や安全性を確保するため、歩行空間における小広場(ポケットパーク)の整備を行った。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・観光地に資する整備が目的であることから、関係機関等の調整が必要。 ・関係機関との調整の結果、特注品等も使用する場合があります、納期が遅れる場合がある。	・周辺自治会及び関係機関の調整等を行い、観光に資する整備を行う。 ・特注品を使用することになった場合は、事前に納期等を確認し、工期設定等を検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
・周辺自治会及び関係機関の調整を密に行っていく。 ・不稼働率や納期等を見込んだ適正な工期設定を行う。 ・平成28年度は、市道総合グラウンド通り線の歩道部に照明灯の設置を行い、観光地周辺道路の快適性や安全性、回遊性の確保を行う。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
6,426	6,426	5,140	1,286	0


```

graph LR
    A[沖縄市  
6,426千円] --> B[委託費  
378千円]
    A --> C[工事請負費  
6,048千円]
    B --> D[有限会社 ソッケン  
378千円]
    C --> E[株式会社 サンニン  
6,048千円]
    D --- F["市道こどもの国北川線小広場整備工事"]
    E --- G["市道こどもの国北川線小広場整備工事"]
  
```

The flowchart illustrates the financial flow for the improvement of the national Route 104 line small plaza playground. It starts with Okinawa City, which has a total budget of 6,426 thousand yen. This budget is split into two main categories: a commission fee of 378 thousand yen and construction fees of 6,048 thousand yen. The commission fee is paid to Rinsen Co., Ltd. (有限会社 ソッケン), and the construction fees are paid to Sunnin Co., Ltd. (株式会社 サンニン). Both companies are engaged in the same project: the improvement of the national Route 104 line small plaza playground (市道こどもの国北川線小広場整備工事).

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事請負業者及び委託請負業者は指名競争入札にて決定しており、支出先の選定方法は妥当であったと考える。 ○委託・工事共に、積算歩掛け及び見積単価等により適正に行っている。 ○費用・使途については、業務完了後に支出等に関する書面により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9-①		地域防災対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部署名	総務部 防災課		事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	災害等に備えるため、災害用備蓄品の確保をはじめ、防災行政無線子局のデジタル整備(H26~H27年度)や避難場所標識の設置等に取り組む。また、地域防災力を強化するため、継続して自主防災組織の結成促進・育成を実施する。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	26年度(繰越)
		(a)当初予算額	264,860	-	65,754	447,713	
		(b)予算現額	263,994	-	56,117	423,002	
		(c)増減額(b-a)	▲866	-	▲9,637	-24,711	0
		(d)繰越額		200,540	-	0	2,570
	A. 計(b+d)		263,994	200,540	56,117	423,002	2,570
	B. 執行済額		58,023	186,239	47,246	419,470	2,570
	うち交付金充当額		46,418	148,991	37,796	335,576	2,056
	次年度繰越額		200,540		0	2,570	0
	執行率(%) (B/A)		22.0%	92.9%	84.2%	99%	100%
予算の状況の説明		・津波避難ビル基本計画・基本設計が基本計画のみとなったため19,337千円を減額。 ・工事管理業務委託が委託不要となる一方で子局整備工事に係る単価調査が必要となったため、単価調査に必要となった金額を除く1,495千円を減額。 ・防災行政無線デジタル子局整備について資材費用等の高騰により、当初計画より整備数に変更があったものの予算の執行については適正であったと考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	災害用備蓄品の確保:10,000食	目標	(備蓄品の確保)	(備蓄食料:10,000食の確保)	()	()	
		実績	備蓄品の確保	備蓄食料:10,525食の確保			
	防災無線子局のデジタル化:工事(68)	目標	(実施設計作成)	(デジタル整備工事68カ所)	()	()	
		実績	実施設計作成	デジタル整備工事68カ所整備			
	津波避難ビルタワー:基本計画	目標	(調査研究実施)	(基本計画の策定)	()	()	
		実績	調査研究実施	基本計画の策定			
	防災組織の結成:新規9組織	目標	(組織結成に向けた取組の実施)	(新規9組織の結成)	()	()	
		実績	組織結成に向けた取組の実施	新規1組織の結成			
	防災組織資機材整備:11組織	目標	(①備蓄品の確保 ②実施設計作成)	(新規結成組織9組織及び前年度結成2組織、計11組織への整備)	()	()	
		実績	①備蓄品の確保 ②実施設計作成	前年度結成1組織、今年度結成1組織の計2組織への整備			
	備蓄倉庫整備(8)	目標	()	(市内小学校8箇所への整備)	()	()	
		実績	-	市内小学校8箇所への整備			
達成状況説明	・備蓄食料は平成25年に沖縄市備蓄計画を策定し、計画に基づきローリング計画を実施。平成26年の目標数の概ね100%を整備する。 ・防災行政無線デジタル化整備について当初の計画通り整備する。 ・津波避難ビル・タワー基本計画の策定。 ・自主防災組織の結成について、9組織結成目標であったが、自治会への結成促進に働きかけるも自治会内部の班編成、組織編成等調整が進まず、1組織結成に留まる。 ・備蓄倉庫について、計画通り整備する。						

成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (年度)	25年度	26年度	27年度	目標値 (年度)
	・災害用備蓄品の整備率68.85% (備蓄目標61,000食) H24～H25 42,718食	目 標	()	(15,000食)	(10,000食 86.42%)	()	()
		実 績		9708食	10,525食 87.28%		
	・防災行政無線子局のデジタル化率 (市面積49.00km ²) 【市街地32.1km ² ・基地面積16.9Km ² 】 H25～H26化率(市街地32.1Km ²)56.63% 94/166	目 標	()	(実施設計 書作成)	(整備数68 56.63%)		()
		実 績		実施設計書作成 完了	整備数68 56.63%		
	・津波避難ビル・タワー(基本計画)	目 標	()	(設置可能 性調査)	(基本計画)		()
		実 績		調査完了	基本計画策定		
	・自主防災組織の結成率34.15% 自主防災組織結成目標数41組織 H17～H25結成数 14組織	目 標	()	(7組織)	(9組織 56.09%)		()
		実 績		3組織	1組織 36.58%		
	・自主防災組織資機材整備率24.39%資機材 整備予定組織数41組織H17～H25設置数12 組織	目 標	()		(11組織 56.09%)		()
		実 績			2組織 34.14%		
	・防災倉庫整備率 24.36% 19/78 (防災倉庫整備予定数 78箇所 平成24～H26 19箇所)	目 標	()		(8箇所 24.36%)		()
		実 績			8箇所 24.36%		
	進 捗 状 況 説 明	・災害用備蓄品について、整備ローリング計画に基づき概ね計画通りに実施している。(備蓄目標61,000食≒市内全人口約135,000人の20分の1の3日分) ・防災行政デジタル無線整備について、計画通り整備する。 ・津波避難ビル・タワー基本計画策定業務について、計画通り実施。 ・自主防災組織の結成については、9組織結成目標であったが、1組織結成に留まる。結成の働きかけは全自治会に随時行っており継続して実施している。 ・自主防災組織資機材整備について、H25結成の3組織中2組織に未整備であったため、目標値を11整備とするが、2組織のみの整備となる。2組織の内訳はH25結成の2組織。自主防災組織資機材は自主防災組織結成時に全自主防災組織に整備する。 ・備蓄倉庫について計画通り整備する。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・防災行政無線について、材料費、人件費の高騰により予算額に対し設計額が見合わず、当初予定していた整備数を更新出来なかった。 ・自主防災組織の結成について、自治会へ結成促進の働きかけを行うも、自治会内部での組織編成や調整が進まず結成に時間を要している。	・H27年度で整備完了の予定であったがH28年度まで延長し対応する。 ・阪神淡路大震災や東日本大震災での自主防災組織の事例等を、自治会役員会で積極的に説明し、重要性を周知していく。 ・各自治会内で自主防災組織の必要性に関して理解は深まっている。今後も継続し、自治会の訪問、役員への周知を図っていく。
今後の取り組み方針		
自主防災組織の結成について、自治会への訪問を積極的に行い、自治会との良好な関係性を築き、組織結成へ向け説明、説得、啓発をはじめ、組織編成へのアドバイス、結成後のサポート等の取組みを推進する。また、消防団の協力を得て、防災訓練、啓発活動を通じ、自主防災組織未結成の地域に自主防災組織の周知を図る。引き続き、自治会に対し、防災意識の高揚をはかり自主防災組織の重要性を周知していく。 災害は津波ばかりではなく、地震による被害、大雨による被害等について、住民に周知し自主防災組織の結成促進を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
		422,040	422,040	337,632	84,408	0

沖縄市
422,040千
円

報酬6,530千円

需用費
11,686千円

委託料
18,267千円

工事請負費
378,000千円

備品購入費
7,556千円

嘱託職員報酬 3名

(株)サンコー
5,140千円
3,628千円

(株)マチダテクノ
2,440千円

サンアイ薬品
98千円

よろこび電化
378千円

(株)琉球コスモセブン
645千円

サイン沖縄
1,890千円

一般財団法人経済調査会沖縄支部
129千円

(株)トラストエンジニア
1620千円

(有)ジテック
1512千円

(有)翔土質エンジニア
1458千円

コザ印刷所
2570千円

(有)創建設計事務所
8441千円

重心電気工事(株)・章電設特定建設工事共同企業体
141,480千円

(有)佐渡山電水・第一工業(株)特定建設工事共同企業体
118,260千円

コザ電気工事(株)・(有)太陽光沖縄特定建設工事共同企業体
118,260千円

(有)よろこび電化
2,937千円

(株)マチダテクノ
510千円

(株)サンコー
947千円

(有)よろこび電化
3,160千円

嘱託職員報酬 3名

災害時消耗品(備蓄食料等)
災害時消耗品(避難所関連等)

災害時用消耗品(毛布等)

災害時用消耗品(粉ミルク)

自主防災組織用(防災資器材消耗品)

避難場所看板製作業務委託

水難危険箇所看板製作委託

沖縄市防災行政無線デジタル整備単価調査業務委託料

沖縄市防災行政無線デジタル子局整備工事磁気探査業務委託

沖縄市防災行政無線デジタル子局整備工事磁気探査業務委託

沖縄市防災行政無線デジタル子局整備工事磁気探査業務委託

沖縄市津波ハザードマップ作成業務委託

沖縄市津波避難ビル基本計画業務委託

沖縄市防災行政無線デジタル子局整備(第1工区)

沖縄市防災行政無線デジタル子局整備(第2工区)

沖縄市防災行政無線デジタル子局整備(第3工区)

備蓄倉庫

自主防災組織用防災資器材倉庫

自主防災組織用防災機材備品

IP無線機

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模において、見積もり、設計、入札において適正であり、妥当であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9-②	災害時緊急避難通路整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部課名	建設部 道路課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化	
						Ⅲ-10-(2)	
事業内容	自然災害などに対する防災力の向上のため、低地における里道を利用した緊急避難通路を整備する。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	26年度(繰越)	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	3,300	5,610	22,435	—	
		(b)予算現額	3,255	5,408	12,850	—	
		(c)増減額(b-a)	▲45	▲202	▲9,585	—	
		(d)繰越額	—	—	—	8,601	
		A.計(b+d)	3,255	5,408	12,850	—	
	B.執行済額		3,255	5,408	4,173	8,385	
	うち交付金充当額		2,604	4,326	3,339	6,708	
	次年度繰越額		0	0	8,601	0	
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	32.5%	97%	
予算の状況の説明		県より土砂災害警戒区域指定の説明を受け、本事業の計画路線の一部が警戒区域内に位置していることが分かった。それに伴い、区域内に位置している路線について一時整備を保留することとしたため、平成26年度の業務計画の見直しを行ったことから、事業費に変動が生じ、2月補正で減額を行った。 また、年度業務計画の見直しに不測の時間を要したことから8,601千円を次年度へ繰越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	実施設計の実施	目標	(3ヶ所)	(3ヶ所)	()	()	
		実績	3ヶ所	1ヶ所			
	用地測量の実施 用地購入の実施	目標	()	(3ヶ所)	()	()	
		実績		2ヶ所			
達成状況説明	県より土砂災害警戒区域指定の予定箇所について説明を受け、当初予定していた実施設計3ヶ所、用地測量、用地購入3ヶ所の路線の一部が区域内に位置することが判明したことから、区域内路線の整備可否について検討する必要が生じ、当初の年度整備計画を見直し、実施設計1ヶ所、用地測量、用地購入2ヶ所を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	緊急避難通路実施設計3ヶ所の完了	目標	()	(4地域、10力所)	(3ヶ所)	(3ヶ所)	()
		実績		4地域、10力所	3ヶ所	1ヶ所	
	緊急避難通路用地測量3ヶ所(H25年度実施設計カ所)の完了 緊急避難通路用地購入3ヶ所(H25年度実施設計カ所)の完了	目標	()	()	()	(3ヶ所)	()
		実績				2ヶ所	
	進捗状況説明	与儀地区1ヶ所について実施設計(L=180m)を行い、古謝地区1ヶ所、比屋根地区1ヶ所について用地測量、用地購入を行った。用地購入を行った箇所については平成27年度、整備工事着手。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本事業については基本的に里道を活用して緊急避難通路を整備していくが、里道の幅員が狭い部分については幅員確保のため用地購入を行うことから、地権者の同意が得られるかが課題となる。 また、計画路線が複数あることから、年度毎に各路線について実施設計を行い、用地を確定していくため、同様の課題に対し毎年度の対応が必要となる。	実施設計にて用地対象地が明確となった場合は、事前に地権者との調整を行い、円滑に用地購入が出来るよう進めていく。
今後の取り組み方針		
用地測量、土地評価、不動産鑑定、用地取得を実施した比屋根地区1ヶ所、古謝地区1ヶ所については整備工事を実施していく。 実施設計を実施した与儀1ヶ所については、整備工事に向けた用地測量、用地購入を行っていく。 また、土砂災害警戒区域内に位置する計画路線について、整備方針を定めていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12,558</td><td>12,558</td><td>10,047</td><td>2,511</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	12,558	12,558	10,047	2,511	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
12,558	12,558	10,047	2,511	0										
<pre> graph LR A[沖縄市 12,558千円] --> B[役務費 880千円] A --> C[委託料 8,369千円] A --> D[公有財産購入費 3,309千円] B --> B1[(有)あい総合研究所 459千円] B --> B2[(有)あい総合研究所 421千円] C --> C1[(有)N's 3,132千円] C --> C2[(株)沖縄エンジニア 1,944千円] C --> C3[(株)国土鑑定センター 1,458千円] C --> C4[(株)はまもと不動産鑑定 1,835千円] D --> D1[古謝地区1筆 871千円] D --> D2[比屋根地区3筆 2,438千円] </pre> ・土地評価業務委託(その1)に係る標準地鑑定評価 ・土地評価業務委託(その2)に係る標準地鑑定評価 ・実施設計業務委託 ・用地測量業務委託 ・土地評価業務委託(その1) ・土地評価業務委託(その2)														
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当だったと考える。 ○予算規模については執行率が97%となっているため、適正な規模であったと考える。 ○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか検査、確認しており、適正であったと考える											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	沖縄市						
平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	12-①	沖縄こどもの国施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-ア	
担当部課名	建設部 建築・公園課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	個性豊かで魅力あふれる基幹都市圏の形成	
						Ⅲ-3-(1)	
事業内容	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の機能強化のため、動物園の充実を図るとともに、動物展示施設整備を行う。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	—	190,270	—	140,952	—
		(b)予算現額	—	278,813	—	132,667	—
		(c)増減額(b-a)	—	88,543	—	▲ 8,285	—
		(d)繰越額	694,452	—	166,437	—	74,729
		A. 計(b+d)	694,452	278,813	166,437	132,667	74,729
	B. 執行済額		679,085	109,278	162,720	57,438	72,729
	うち交付金充当額		543,267	61,278	156,319	45,950	58,183
	次年度繰越額		0	166,437	0	74,729	0
	執行率(%) (B/A)		97.8%	39.2%	97.8%	43.3%	97.3%
予算の状況の説明		こどもの国公園は既存の動物舎が多いこと、埋設物等の既存資料が不足していることから、工事中に設計時に確認できなかった埋設物が発見されたため、調査等に不測の時間を要したことから工事を繰越した。 チンパンジー舎新築工事の繰越に伴い、付随する監理委託業務及び意図伝達業務も繰越することとなった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	動物舎施設設計の実施	目 標	(動物舎実施設計 監理業務)	(動物舎実施設計 監理業務)	(動物舎実施設計 (1棟) 監理業務(1棟))	()	
		実 績	動物舎実施設計 監理業務	動物舎実施設計 監理業務	動物舎実施設計 (1棟) 監理業務(1棟)		
	動物舎施設工事の実施	目 標	(第1期工事 (動物舎2棟))	(第2期工事 (動物舎10棟))	(チンパンジー舎工事 (動物舎1棟))	()	
		実 績	第1期工事 (動物舎2棟)	第2期工事 (動物舎10棟)	チンパンジー舎工事 (動物舎1棟)		
達成状況説明	平成26年の活動目標をすべて達成することができた。 委託業務については、ゾウ舎増築実施設計、チンパンジー舎監理業務及び意図伝達業務、請負工事として、チンパンジー舎新築工事を完了することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	動物舎施設1棟の実施設計完了	目 標	()	(動物舎実施設計 監理業務)	(動物舎実施設計 監理業務)	(動物舎実施設計 (1棟) 監理業務 (動物舎施設1棟 の実施設計完了))	()
		実 績		動物舎実施設計 監理業務	動物舎実施設計 監理業務	動物舎実施設計 (1棟) 監理業務 (動物舎施設1棟の実	
	動物舎施設1棟の工事完了	目 標	()	(第1期工事 (動物舎2棟))	(第2期工事 (動物舎10棟))	(チンパンジー舎 (動物舎施設1棟 の工事完了))	()
		実 績		第1期工事 (動物舎2棟)	第2期工事 (動物舎10棟)	(チンパンジー舎 (動物舎施設1棟 の工事完了))	
	進捗状況説明	平成26年の成果目標をすべて達成することができた。 委託業務については、ゾウ舎増築実施設計、チンパンジー舎監理業務及び意図伝達業務、請負工事として、チンパンジー舎新築工事を完了することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 【事業課題】 こどもたちの豊かな感性や人間性をはぐむ場の創出および文化の振興を図るとともに、観光資源として誘客を拡大していくためには、こどもの文化創造活動の支援の充実が必要である。 【推進上の問題】 ①既存の埋設物等の資料が不足していること、②動物へのストレスを緩和するために整備時間帯の規制、③公園利用者の仮設通路等を確保しての工事、④関連する当該工事の搬入路の確保が困難となり工期に影響が生じた。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) ①既存埋設物については、資料が不足しているため、試掘調査等を実施し適宜計画に反映させる必要がある。 ②整備時間帯の規制や③利用者の仮設通路の確保等を優先することで工事期間が長期化するため、指定管理者である公益財団法人沖縄こどもの国と調整が重要である。 ④他事業の整備工事との連携を密に重ねることにより、搬入路の確保等の検討も重要である。
	今後の取り組み方針 ①既存埋設物については、資料が不足しているため、試掘調査等を実施し適宜計画に反映させる必要がある。 ②整備時間帯の規制や③利用者の仮設通路の確保等を優先することで工事期間が長期化するため、指定管理者である公益財団法人沖縄こどもの国と調整が重要である。 ④他事業の整備工事との連携を密に重ねることにより、搬入路の確保等の検討も重要である。 上記の課題を踏まえ、指定管理者や他事業との連携を密に行い、動物及び利用者にとっても最適な工法・手段を検討することで、動物園の充実につながる。	

総事業費	交付対象 事業費			交付対象 外経費
		交付金 充当額	市町村 負担金	
130,167	130,167	104,133	26,034	0

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、国や県が示している積算方法にのっとり積上げているため、適正な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	13-①	コミュニティパーク整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ	
担当部課名	建設部 建築・公園課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	市民の健康づくりや地域住民相互の交流等を促進するため、地域住民の意見・ニーズを伺いながら公園の基本設計を策定し、実施設計および造成工事等をおこなう。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,794	58,752	—	150,023	—
		(b) 予算現額	4,922	48,220	—	150,023	—
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 2,872	▲ 10,532	—	0	—
		(d) 繰越額	1,057	—	41,500	—	138,165
		A. 計 (b+d)	4,922	48,220	41,500	150,023	138,165
	B. 執行済額		3,885	6,720	40,660	11,859	138,165
	うち交付金充当額		3,108	5,736	32,528	9,486	110,532
	次年度繰越額		0	41,500	0	138,165	0
	執行率 (%) (B/A)		78.9%	13.9%	98.0%	7.9%	100.0%
予算の状況の説明		(仮称)美東公園においてに磁気探査の異常点について確認探査を実施したことにより不測の日数を要し、工事着手が当初の予定より大幅に遅れたため、工事費を繰越した。 また、地域からの要望によりピオトープを整備するため修景施設設計を契約繰越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	(仮称)美東公園:施設整備工事及び修景施設調査設計の実施	目 標	(—)	(確認探査造成工事)	(修景設計整備工事)	()	
		実 績	—	確認探査造成工事	修景設計整備工事		
	若夏公園:実施設計の実施	目 標	(基本計画策定)	(基本設計)	(実施設計)	()	
		実 績	基本計画策定	基本設計	実施設計		
達成状況説明	平成26年の活動目標をすべて達成することができた。 (仮称)美東公園においては、ピオトープ等の修景施設設計及び多目的広場等の施設整備工事を実施した。 若夏公園においては、公園の実施設計を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	(仮称)美東公園:施設整備工事及び修景施設調査設計の完了	目 標	()	(—)	(確認探査造成工事)	(修景設計整備工事)	()
		実 績		—	確認探査造成工事	修景設計整備工事	
	若夏公園:実施設計の完了	目 標	()	(基本計画策定)	(基本設計)	(実施設計)	()
		実 績		基本計画策定	基本設計	実施設計	
	進捗状況説明	平成26年の成果目標をすべて達成することができた。 (仮称)美東公園においては、ピオトープ等の修景施設設計及び多目的広場等の施設整備工事を実施した。 若夏公園においては、公園の実施設計を実施した。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化） 市民の健康づくりや地域コミュニティ等を促進するため、地域と意見交換を行い基本計画、基本設計、実施設計を実施したが、新たな意見、要望等があったことから、実施設計においてより多くの時間を設ける必要があった。 また、公園全体の磁気探査業務を含め発注した花壇整備工事において、磁気異常が多数確認されたため、本工事とは別に確認探査業務を発注する必要が生じ、その調査に不測の日数を要したため、工事発注に遅れが生じた。	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点） 地域と意見交換を行い設計に反映させたが、工事着手前に新たな意見、要望等があった。市としては、市民に親しまれる公園となるよう可能な限り検討し、また、この公園の活用上、見直すことでより利便性が向上すると判断した際には、適宜設計変更を実施し、公園機能の充実を図る。 磁気探査業務において、磁気異常が確認されたため、確認探査業務を発注する必要が生じた。（磁気異常がなければ、確認探査業務は発注しなくても良い） 今後、整備をする際には、磁気異常があると想定し、設計完了から工事発注までには、余裕を持って整備計画を組み立てる必要がある。
	今後の取り組み方針 地域と意見交換を行い設計に反映させたが、工事着手前に新たな意見、要望等があった。市としては、市民に親しまれる公園となるよう可能な限り検討し、また、この公園の活用上、見直すことでより利便性が向上すると判断した際には、適宜設計変更を実施し、公園機能の充実を図る。 ストリートワークアウトの競技が可能な遊具（鉄棒・雲梯・平行棒）を設置し、毎年行われる世界大会（日本GP）の会場として活用できるよう、日本支部の方と調整を行った。美東公園においては、地元の子どもからお年寄りまで体力増進としての場の提供と、HP配信を行い世界各地の競技者が練習できる場を提供することで、観光に資する公園として位置づけられると考えている。 磁気探査業務において、磁気異常が確認されたため、確認探査業務を発注する必要が生じた。（磁気異常がなければ、確認探査業務は発注しなくても良い） 今後、整備をする際には、磁気異常があると想定し、設計完了から工事発注までには、余裕を持って整備計画を組み立てる必要がある。	

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
150,023	150,023	120,018	30,005	0

```

graph LR
    A[沖縄市  
150,023千円] --> B[委託費  
17,361千円]
    A --> C[工事費  
132,662千円]
    B --> D["有限会社 MUI計画  
11,858千円"]
    B --> E["沖縄シビル開発開発  
5,503千円"]
    C --> F["有限会社 秋建設  
99,252千円"]
    C --> G["有限会社 アルファー沖  
縄33,410千円"]
    
    D --- H["（若夏公園実施設計業務委託）"]
    H --- I["（実施設計）"]
    
    E --- J["（仮称）美東公園修景施設設計業"]
    J --- K["（修景施設  
実施設計）"]
    
    F --- L["（仮称）美東公園施設整備工事  
（その3）"]
    L --- M["（多目的広場  
整備工事）"]
    
    G --- N["（仮称）美東公園施設整備工事  
（その4）"]
    N --- O["（健康遊具  
整備工事）"]
  
```

The flowchart illustrates the distribution of 150,023 thousand yen from Okinawa City. It splits into two main categories: Commission Fees (17,361 thousand yen) and Construction Fees (132,662 thousand yen). The Commission Fees are allocated to two contractors: Limited Company MUI Planning (11,858 thousand yen) for landscape design at Wakasaka Park, and Okinawa Shibil Development (5,503 thousand yen) for landscape facility design at Mei-to Park. The Construction Fees are allocated to two contractors: Limited Company Akibutsu (99,252 thousand yen) for multi-purpose field improvement works at Mei-to Park, and Limited Company Alfa-Okinawa (33,410 thousand yen) for health play equipment improvement works at Mei-to Park.